

世帯規模と若干の人口学的要因との地域的相関：1970年	山口 喜一 技官 石川 晃 技官
日本家族論ノート(1)——大間知理論を中心として——	清水 浩昭 技官
東京都にみられる老人問題の一端	山本 道子 技官
身体障害者〔出現〕率の地域差，年齢差	高橋 重郷 技官
死産票および死亡票から得られた先天性水頭症の発生率の地域格差	今泉 洋子 技官 井上 房美 技官
教育と食行動	内野 澄子 技官 久保 幸子 技官
コミュニティ余暇をめぐる近年の動向	若林 敬子 技官
Rank-size rule の応用について	濱 英彦 技官
人口関係文献の分類方法について	金子 武治 技官 白石 紀子 技官

1974年世界(主要地域)人口

国際連合統計局 (Statistical Office of the United Nations) は、先頃、『世界人口年鑑 (Demographic Yearbook)』の1974年版を発表した。今回刊行された年鑑は、1948年の第1集から数えて第26集目に当たる。この人口年鑑は、毎回トピック主義の編集が行なわれ、今回は「死亡統計 (Mortality statistics)」特集となっている。なお、1974年版についても日本語版が刊行される予定である (国際連合統計局編、黒田俊夫翻訳監修、『世界人口年鑑、1974』、1976年6月末頃(株)原書房発行)。

今回の年鑑によると、1974年の年央時点における世界総人口は38億9,000万人となっており、1965～74年の人口増加率は年平均1.9% (出生率は人口1,000につき33、死亡率は同じく13と推定されている) で、このままでは、人口は36年後の2010年頃までに倍増することになる。

世界人口の大陸別内訳は、アジア22億600万、ヨーロッパ4億7,000万、アフリカ3億9,100万、ラテンアメリカ3億1,500万、ソビエト連邦2億5,200万、北アメリカ2億3,500万、オセアニア2,090万であり、アジア地域には、半数以上の人口が住んでいることになる。人口密度をみると、ヨーロッパの面積は世界総面積のわずかに3.6%にすぎないが、ここに世界人口の12.1%が住んでいるから、人口密度は1平方キロメートルについて95人に上り、大陸別の最高を示している。アジアの面積は世界の面積の20.3%であるが、ここに世界人口の56.7%が住んでいるから、その人口密度は80人で、ヨーロッパに次いで高い。逆に人口密度が低いのはオセアニアで、わずかに2人である。

1970～1974年の年平均増加率は1.9%であるが、最も人口増加率の高かった1960年代よりはいくらか低まったことになる。しかし、大陸別にみると、アフリカの増加率は1960年代より高くなっており、2.7%とこの間の最も高い増加率を示している。資料のあるアフリカ45か国中43か国が2%以上の増加率を示し、そのうち、12か国が3%以上の増加率を示している。また、アジアも以然として高い増加率を保っており、アフリカに次いで、2.1%と高い増加率を示している。アジアの35か国が2%以上の増加率を示し、そのうち17か国が3%以上の増加率を示している。逆に増加率が低いのはヨーロッパの0.6%であり、34か国中26か国が1%以下の増加率である。

年齢構造係数を見ると、世界合計で、15歳未満の年少人口割合が37%、15歳から64歳までの生産年齢人口割合が58%、65歳以上の老年人口割合が5%である。地域別にみて最も人口が高齢化している地域はヨーロッパであり、65歳以上の老年人口割合は11%である。次いでアメリカが10%と高齢化している。逆にアフリカ、アジアは65歳以上の老年人口割合が少く、それぞれ3%、4%である。

ここには、紙幅の関係でこの年鑑の表1および表2として掲げられている世界の大陸および主要地域別に

世界、主要地方および地域の人口、人口増加率、出生率、死亡率、面積および人口密度：特定年次

主要地方 および地域	年 央 推 計 人 口 (単位 100万)							年平均人口 増加率 (%)		推 計 出生率 (‰)	推 計 死亡率 (‰)
	1950	1955	1960	1965	1970	1973	1974	1965-74	1970-74	1965-74	1965-74
世界合計	2,501	2,722	2,986	3,288	3,610	3,818	3,890	1.9	1.9	33	13
アフリカ	219	243	273	309	352	381	391	2.7	2.7	47	21
西部アフリカ	65	72	80	90	102	110	113	2.5	2.6	49	24
東部アフリカ	62	69	77	88	100	108	111	2.7	2.8	47	21
北部アフリカ	52	58	66	72	86	93	96	2.8	2.8	45	16
中央アフリカ	26	29	32	36	40	43	44	2.4	2.3	45	23
南部アフリカ	14	16	18	21	24	26	27	2.9	2.7	42	17
アメリカ ¹⁾	330	369	414	461	509	540	550	2.0	1.9	29	10
北部アメリカ ¹⁾	166	182	199	214	226	233	235	1.0	0.9	17	9
ラテンアメリカ	164	188	216	247	283	307	315	2.7	2.7	38	10
熱帯南アメリカ	86	100	116	134	155	169	174	3.0	2.9	39	10
中央アメリカ(本土)	36	42	49	57	67	74	76	3.2	3.3	43	10
温帯南アメリカ	25	28	31	33	36	38	38	1.5	1.4	24	9
カリブ海	17	18	20	22	25	26	27	1.9	2.0	34	10
アジア ²⁾³⁾	1,368	1,492	1,644	1,824	2,027	2,160	2,206	2.1	2.1	37	15
東アジア ²⁾	675	729	788	854	926	973	989	1.6	1.6	29	12
中国	558	605	654	710	772	811	825	1.7	1.7	33	15
日本	84	90	94	99	104	108	109	1.1	1.1	19	7
その他の東アジア	33	34	39	45	50	53	55	2.2	2.2	33	10
南アジア ³⁾	693	763	856	970	1,101	1,187	1,218	2.6	2.5	43	17
中央南アジア	475	520	581	656	742	798	817	2.5	2.4	43	17
南東アジア	173	192	217	248	283	306	315	2.7	2.7	43	16
南西アジア	44	51	58	67	77	83	86	2.8	2.9	43	15
ヨーロッパ ²⁾³⁾	392	408	425	445	459	467	470	0.6	0.6	17	11
西部ヨーロッパ	122	128	135	143	148	151	152	0.7	0.6	16	11
南部ヨーロッパ	109	113	118	123	128	130	131	0.7	0.7	19	9
東部ヨーロッパ	89	98	97	100	103	105	106	0.6	0.6	18	11
北部ヨーロッパ	72	74	76	79	80	81	82	0.4	0.4	16	11
オセアニア ³⁾	12.6	14.1	15.8	17.5	19.3	20.3	20.9	2.0	2.0	24	10
オーストラリアおよび ニュージーランド	10.1	11.4	12.7	14.0	15.4	16.1	16.6	1.9	1.9	21	9
メラネシア	1.8	2.0	2.2	2.5	2.8	3.0	3.1	2.4	2.4	47	18
ポリネシアおよび ミクロネシア	0.7	0.8	0.9	1.1	1.2	1.3	1.3	2.6	2.6	34	7
ソビエト連邦	180	196	214	231	243	250	252	1.0	0.9	18	8

主要地方および地域	面積	面積割合	人口密度 ⁴⁾	人口割合			年齢構造係数：1970			男女比
	(1,000km ²)	(%)	(人)	(%)			(%)			(女100に 対する男)
	1974	1974	1974	1970	1973	1974	0~14	15~64	65~	1974
世界合計	135,830	100.0	29	100.0	100.0	100.0	37	58	5	100
アフリカ	30,319	22.3	13	9.5	9.6	9.7	44	53	3	99
西部アフリカ	6,142	4.5	18	2.8	2.8	2.8	44	53	3	100
東部アフリカ	6,338	4.7	18	2.7	2.7	2.7	44	53	3	98
北部アフリカ	8,525	6.3	11	2.4	2.4	2.5	45	52	3	101
中央アフリカ	6,613	4.9	7	1.0	1.0	1.0	43	54	3	96
南部アフリカ	2,701	2.0	10	0.6	0.6	0.6	41	55	4	97
アメリカ ¹⁾	42,082	31.0	13	14.1	14.1	14.1	37	57	6	98
北部アメリカ ¹⁾	21,515	15.8	11	6.3	6.2	6.1	28	62	10	96
ラテンアメリカ	20,566	15.1	15	7.8	7.9	8.0	43	53	4	100
熱帯南アメリカ	14,106	10.1	12	4.2	4.2	4.3	44	53	3	100
中央アメリカ(本土)	2,496	1.8	31	1.8	1.9	1.9	47	50	3	101
温帯南アメリカ	3,726	3.0	10	1.1	1.1	1.1	31	62	7	100
カリブ海	238	0.2	112	0.7	0.7	0.7	42	53	5	99
アジア ²⁾³⁾	27,580	30.3	80	56.6	57.0	57.1	39	57	4	104
東アジア ²⁾	11,756	8.7	84	25.6	25.4	25.3	34	61	5	104
中国	9,597	8.2	86	21.1	20.9	20.9	35	60	5	105
日本	372	0.3	293	2.8	2.8	2.8	24	69	7	96
その他の東アジア	1,786	0.2	31	1.7	1.7	1.7	42	55	3	100
南アジア ²⁾	15,825	11.7	77	31.0	31.5	31.7	43	54	3	105
中央南アジア	6,785	5.0	120	21.0	21.3	21.5	43	54	3	107
南東アジア	4,498	3.4	70	7.9	8.0	8.1	44	53	3	99
南西アジア	4,542	3.3	19	2.1	2.2	2.2	43	53	4	103
ヨーロッパ ²⁾³⁾	4,937	3.6	95	12.7	12.4	12.2	25	64	11	95
西部ヨーロッパ	995	0.7	152	4.1	4.0	3.9	24	63	13	94
南部ヨーロッパ	1,315	1.0	100	3.5	3.5	3.4	26	64	10	95
東部ヨーロッパ	990	0.7	107	2.9	2.8	2.7	25	65	10	94
北部ヨーロッパ	1,636	1.2	50	2.2	2.2	2.1	24	63	13	96
オセアニア ²⁾	8,510	6.3	2	0.5	0.5	0.5	32	61	7	103
オーストラリアおよび ニュージーランド	7,956	5.9	2	0.4	0.4	0.4	30	62	8	101
メラネシア	524	0.4	6	0.1	0.1	0.1	42	55	3	110
ポリネシアおよび ミクロネシア	30	0.0	44	0.0	0.0	0.0	45	52	3	107
ソビエト連邦	22,402	16.5	11	6.7	6.6	6.5	29	63	8	85

- 1) アメリカ合衆国の1州であるハワイは、オセアニアでなく北アメリカに含まれる。
- 2) 別掲のソビエト連邦を除く。
- 3) トルコのヨーロッパの部は、ヨーロッパでなく南アジアに含まれる。
- 4) 表面積1平方キロメートル当たりの人口。数値は単純に人口を表面積で割ったものであって、都市的地域の意味での密度を表すものでもなければ、各地域の土地と資源の扶養力を意味するものでもない。

関する統計表しか示さなかったが、国別にみると、現在（1974年央時点）世界で最大の人口を持つ国は中国で、推定8億2,496万、これに次いでインドが5億8,606万、ソビエト連邦2億5,206万、アメリカ合衆国2億1,191万、インドネシア1億2,759万、日本1億967万、ブラジル1億424万の順で、日本は第6番目に位置している。それに続く人口5,000万を超える国を列記すると、バングラデシュ7,499万、パキスタン6,821万、ドイツ連邦共和国6,204万、ナイジェリア6,127万、イギリス5,597万、イタリア5,536万、メキシコ5,812万、フランス5,213万である。

人口1,000万以上の諸国のなかで人口密度の高い国は、バングラデシュの1平方キロ当たり521人を筆頭に、韓国の340、オランダ332、日本295、ドイツ連邦共和国250、イギリス229、スリランカ208等であるが、人口がわずかに1,000万に足りないベルギーの密度は320であり、これを含めると日本は世界で第5番目になる。しかし、各国の面積のなかには、山地や砂漠や氷結地などのように人間の居住が困難な地域が含まれているので、より現実的な居住可能な地域当たりの平均人口をもって比較してみると、日本は世界で最も人口稠密な国であると推察される。

なお、ここに示した統計表における世界の主要地方・地域の構成については、56ページに示してある。

（金子武治記）

世界の将来推計人口（1973年推計）

国際連合は、前回の1968年推計を含めてこれまで5回の将来推計人口を発表してきたが³⁾、1974年8月ブカレストで開催された世界人口会議に新しい将来推計人口を提出し⁴⁾、その後4つのWorking Paper（以下WPと略称）を公表している⁵⁾。そこで、主要な地域について総人口、人口増加率、年齢3区分別構成など若干の数値を55ページに示すとともに、1973年推計の推計方法などの概要を紹介するものである。

この1973年推計は、国際連合の第2次開発10年計画の評価に必要な最新の資料を提供する目的でおこなわれたものである。したがって1968年推計に基づく、都市・農村別人口、経済活動人口、農業・非農業人口、就学人口および世帯と家族など、国際連合とILO、FAOおよびUNESCO等の諸機関とによって発表されている上記の推計の改訂も計画の中に含まれている⁴⁾。

1973年推計は、1970年を基準年次とし、1970年から2000年までの間について5年ごとに8つの主要地方、24の地域と200以上の国や地区についておこなわれた。その推計内容は次のとおりである。

- a) 男女年齢（5歳階級）別に5年ごとに推計されている。ただし、人口規模が25万以下の国または地区では総人口のみ推計されている。（WP.60に中間推計値のみ記載）
- b) 5歳から24歳までの年齢については、5歳階級と同様に、各歳に推計がおこなわれた。ただし、人口規模の小さい国は除かれている。
- c) 総人口については、毎年数値がすべての国や地区について補間推計されている。（WP.56）
- d) 推計は4つの推計値からなっている。それは「高」、「中間」、「低」および「出生率一定」の4つで、世界、開発地域、低開発地域、8つの主要地方、24の地域と国や地区についておこなわれている。（WP.53）
- e) 男女年齢別構成に基づく、従属人口指数、平均年齢などの主要な人口学的指標は、人口規模の小さな国以外の、すべての国について示されている。（WP.55）

また、1970年の男女年齢別人口を1968年推計以降に明らかにされた資料によって推定し直した。したがって、1950年から1970年までの5年ごとの地域および国の男女年齢別人口も修正（再推定）されている。

1973年推計では推計方法上いくつかの新機軸がみられ、その1つは出生率および死亡率の将来推移モデルを広範囲に適用したことである。これらは、別な印刷物で詳細に論じられることが予告されている⁶⁾。